

意見書

「協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書

「可決」
だれもが希望と誇りを持って働く事や仕事を通じて安心と豊かさを実感できるコミュニティをつくる事、さらには、人とのつながりや社会とのつながりを感じることが、市民事業による市民主体のまちづくりを創造すると考えられる。
よって、国においては、社会の実情を踏まえ、協同労働の協同組合法」を速やかに制定するよう強く要望する。

生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書

「可決」
原油や食料品等の価格高騰が続き、市民生活を直撃している。景気減速の状況下、特に生活困窮層への影響が大きく現れている。また、物価高騰による実質所得の低下は、市民生活を圧迫すると共に購買力の低下を招き、さらなる地域経済の悪化や地方行政の運営に影響を与える事が懸念される。
よって、国会及び政府においては、次の事項を実現するよう強く求める。
一、原油や食料品等の高騰に伴う実質所得低下を緩和するため、中低所得者層を中心とする所得税減税や生活困窮者に対する補助金制度の創設、生活基準に対する物価上昇分の上乗せを行うこと。

社会保障関係費の2200億円削減方針の撤回を求める意見書

「可決」
地域における医師不足をはじめとして、医療、介護、福祉などの社会的セーフティ

インターネット機能が著しく弱体化している。また、非正規労働の拡大は、ワーキングプア層をつくり出し、各種保険に加入できないなど、住民不安は確実に広がっている。

7月に閣議了解された「平成21年度予算の概算要求」に関して、社会保障関係費予算を2200億円削減することが示された。これは、地域の医療体制や就労の安定雇用にも悪影響を与える事が懸念される。
よって、国会及び政府においては、次の事項を実現するよう強く求める。
一、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」（骨太の方針2006）で打ち出された社会保障関係費を毎年2200億円削減する方針を撤回すること。

請願

鴻巣市に「就労支援センター」の設置を求める請願

「採択」
就労支援センターとは、障がい者の身近な場所で、個々の相談から就労、職場定着までのきめ細かい支援を行うための施設で、各市町村が設置するものです。それぞれの就労支援や、主に市内企業への情報提供など多いに必要性を感じる所です。
一、障がい者の雇用促進と、企業が安心して障がい者を雇用できるよう鴻巣市に就労支援センターの設置を求める。

後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書提出に関する請願書

「不採択」
現在実施されている後期高齢者医療制

度への批判が全国各地から巻き起こっている。保険料の年金天引きや、診療の差別化などである。同制度は廃止する以外に解決する道はない。

「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書を国並びに国会に対して提出すること」

「消費税の税率引き上げ反対を求める意見書」の提出を求める請願

「不採択」
経団連会長や政府関係者の発言では、消費税率引き上げが明言された。これは、仕事と暮らしに大きな打撃を与え、国民の消費を冷え込ませ、景気下降の懸念材料になりかねない。
よって、政府に対し消費税率の引き上げを行わないよう意見書を提出することを請願する。

表紙によせて



10月15日に、広田鷲価神社でささら(龍頭舞)が行われました。370年目を迎え、しし舞や小学生による棒使いが披露されました。(鴻巣市無形民芸文化財に指定)

編集後記

朝夕の涼しさを感じる季節になりました。しまい忘れた扇風機を横目にして、冬支度に備えるのもこの時期。残り少なくなつたカレンダーに目をやると、「師走」の文字が忙しさを誘って、あつという間に年末を迎えます。

それぞれが今年の出来事に想いを巡らせながら、来年の五年にどんな願いを立てますか。平和・健康・交通安全・商売繁盛などすばらしい年にしたいものです。

市議会の活動も12月定例会をもって、この1年が終わります。さらなる飛躍を期し努力して参りますので、御理解と御協力を御願ひ致します。来年も、親しみやすい「議会だより」発行に努めてまいります。

編集委員会

- | | |
|--------|--------|
| 委員長 | 斎藤 忠司 |
| 副委員長 | 菅野 博子 |
| 委員 | 大塚 敏子 |
| 岡崎 高之 | 岡崎 高之 |
| 金澤 孝太郎 | 金澤 孝太郎 |
| 野本 恵司 | 野本 恵司 |
| 潮田 幸子 | 潮田 幸子 |